

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
平成11年10月18日 第29報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Chroococcus minutus</i> *	10		
(藍) <i>Aphanizomenon sp.</i> *	13		
(黄鞭) <i>Mallomonas elongata</i>	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	160		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	40		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	60		
(緑) <i>Eudorina elegans</i>	32		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	58		
(緑) <i>Closterium aciculare var. subpronum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	23	6.0	3.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	10	2.6	4.6
(珪) 珪藻綱	160	41.7	55.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	100	26.0	18.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	91	23.7	18.9
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	384	総体積 (μm^3)	4.3E+05
種 類 数	9		

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

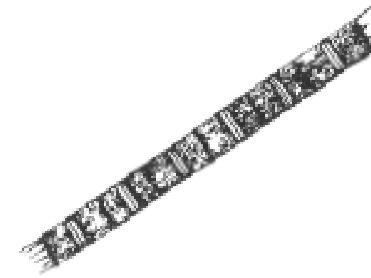
動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Tintinnopsis cratera</i>	60

第 2 優 占 種		個体数 (個体/l)
甲殻類	<i>Eodiaptomus japonicus</i>	40

*個体数については、プランクトンネット(300 μm)で採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



Melosira granulata
(メロシラ)
珪藻綱

細胞は円筒形で、糸状の群体を形成する。群体の両端に顕著な長い剛毛を1~3本有する。

動物プランクトン第1優占種

Pompholyx sulcata
(ミゾアワワムシ)
輪虫類

被甲は卵円形で、4条の縦溝によって4個のふくらみ部に分かれる。2眼があって若いときは真紅だが、次第に暗色になる。

コメント:

植物プランクトンは、メロシラ グラヌラータが減少したために細胞数、体積ともに減少した。直鎖状群体を形成する藍藻アファニゾメノンが見られた。アファニゾメノン属の特徴としては、群体両端付近の細胞がクロロフィルaを欠き、かつ、長く伸びることである。
動物プランクトンはスナカラムシが60個体/l、ヤマトヒゲナガケンミジンコが40個体/l見られた。スナカラムシは5月に優占種となったがその後は少なかった。